

## 日本教材学会 第36回研究発表大会 ご案内 (3次案内)

日本教材学会は、「第36回研究発表大会」を2024年10月5日(土)、6日(日)の2日間、北海道旭川市の北海道教育大学旭川校を大会会場として、対面で開催いたします。昨年度まで、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインでの開催が続いておりましたが、第36回大会から対面での実施を再開する運びとなりました。会員の皆様方のご理解・支援をお願いいたします。会員各位の力強いご協力のもと、実りある大会となりますよう、是非とも多数のご参加いただきますようお願い申し上げます。

◆主催：日本教材学会

◆後援：旭川市教育委員会

◆日時：2024年10月5日(土)～6日(日)

◆開催会場：北海道教育大学旭川校 〒070-8621 北海道旭川市北門町9丁目

[アクセスマップ | 旭川校 | 国立大学法人 北海道教育大学 \(hokkyodai.ac.jp\)](#)

◆大会参加費：会員2,000円、非会員3,000円、学部生・院生・北海道の教員の皆様 1,000円

※受付混雑緩和のため9月17日までの事前受付にご協力ください。(下のリンクからお申し込みください。)

[https://docs.google.com/forms/d/luuwXe7QJJS\\_2rdu6XFvI6LEUJo07rogYood8EeuW6c/edit](https://docs.google.com/forms/d/luuwXe7QJJS_2rdu6XFvI6LEUJo07rogYood8EeuW6c/edit)

※ 事前受付され、当日ご欠席された場合、返金はできませんので、ご了承ください。

※ 当日参加の場合、会員3,000円、非会員4,000円となります。ご了承ください。(学生・北海道の教員の皆様の1,000円は変わりません。) **数に限りはありますが、要旨集(1000円)の購入も可能です。**

◆研究発表大会日程・時程(時間は、開始・終了時刻)

## 2024年10月5日(土)

9:00 9:30 11:30 11:40 12:25 13:00 13:15 15:45 17:00 18:30

受付	自由研究発表① (5会場) (各発表25分×4本) [発表20分+質疑5分] ※発表間の入れ替え5分	休憩	理事会 (45分)	休憩	開会式 (15分)	シンポジウム (+ワークショップ) 「生成AIと教材」 (150分)	移動	情報交換会 (90分)
----	---	----	--------------	----	--------------	---	----	----------------

※今大会は、ポスター発表は実施いたしません。 ※シンポジウムは、ワークショップ60分+シンポジウム90分です。

## 2024年10月6日(日)

9:15 9:30 11:30 11:40 12:25 13:00 14:30

受付	自由研究発表② (4会場) (各発表25分×4本) [発表20分+質疑5分] ※発表間の入れ替え5分	休憩	総会 (45分)	休憩	研究プロジェクト 3会場 (各90分)
----	---	----	-------------	----	---------------------------

・今大会は、1日目の終了後に市内の旭川トーヨーホテルで情報交換会を開催いたします。(参加費は5,500円です。)

・部屋の数に限りはございますが、情報交換会会場のホテルに特別価格で宿泊いただけます。申込は9月末までで実行委員会が取りまとめております。申込は次のリンクから⇒[【ホテル申込フォーム】第36回研究発表大会 \(google.com\)](#)

【シンポジウム (150分)】 コーディネーター：渡壁誠 (北海道教育大学旭川校)

○ワークショップ テーマ：生成AI を活用した授業設計 (60分) (教科ごとのグループに分かれて実施)

(説明) ラーニングスケルトンAI (略称：LSAI) や ChatGPT を活用して指導の手順や展開方法を検討する活動を体験

※当日は、20台ほど貸出しのご用意もしますが、会場のWi-Fi環境が安定しない可能性もありますので、可能な方は、オンライン (ポケットWi-Fi等) の端末をご持参いただけますと幸いです。

講師：北畠謙太郎 (株式会社メディアファイブ)

講師：山本 利一 (埼玉大学教育学部：オンライン参加予定)

○シンポジウム テーマ：生成AI と教材 (90分)

「教材学的な視点から」 朝倉 徹 (東海大学)

「授業実践への活用の視点から」 中里 彰吾 (文部科学省指定 生成AIパイロット校 札幌市立中央小学校)

【自由研究発表 1日目】

<10/5 第1分科会N331教室：算数・数学> 司会：永山 香織、中逸 空			
東尾 晃世	柳本朋子	算数・数学	数量関係の理解を深めるICTカルタ
田中 慎二		算数・数学	「口頭による証明」活動を充実させる教材の扱い —証明力の育成を確かなものとするために—
花園 隼人		算数・数学	中学校数学科における比例に関する教科内容構成についての—考察： 数学的对象の美的性質の感得を視座として
太田 伸也		算数・数学	「対象／視点」の観点から空間図形の教材研究を考える

<10/5 第2分科会N330教室：社会、理科、生活科> 司会：小原 友行、鈴木 正行			
小松 伸之		社会	SDGs教材としての世界遺産の活用
伊藤 裕康		社会	社会科教材開発方略に関する基礎的研究 —社会科単元別実践史研究に基づく教材開発—
澤柿 教淳		生活・総合的な学習 (テーマ：地球環境)	南極素材の教材化に向けた基礎的研究-南極の氷に着目して-
恒川 徹		社会	子どもの遊び心を引き出す社会科教材の開発 —学びの主体性を育てる授業づくりのために—

<10/5 第3分科会N218教室：情報、メディア活用> 司会：山野 信一、市川 洋子			
川田 明彦		メディア活用 (AIの活用)	マンガ・アニメ制作体験における生成AI活用の可能性とリスク —「映像文化論」の実践講義を通じて—
井上 嘉名芽		情報 (高等学校)	2045年問題における画像生成AI「Adobe Firefly」を活用した 高等学校「情報I」の授業実践事例研究
山野 正人		情報	ICT苦手でもGoogleアプリで簡単デジタル教材作成

<10/5 第4分科会N217教室：音楽、その他> 司会：石川 勝彦、山田 雅彦			
古田 このみ	木下和彦・千葉玲遠	音楽	音楽科と技術科の融合による歯車で動くSTEAM教材「ポリリズム君」の開発と実践
石塚 真子		音楽	小学校教員養成における音楽科教育法の学習材について
越川 徹郎		音楽	音楽科におけるデジタル教材のプログラミング的思考力育成への有用性 —音楽づくりの活動を中心として—
大村 龍太郎		その他：小学校における教科等間の比較・関連的な指導を企図した教材研究	教科等間の比較・関連的な指導を企図した教材研究に関する—考察 —小学校教師の「多数の教科等を指導する立場」を生かして—

<10/5 第5分科会L202教室：幼児期教育、生涯学習、外国語> 司会：柴田 卓、藪中 征代			
戸田 大樹	舘秀典	幼児期教育	保育者志望学生のためのフィードバック型保育ドキュメンテーション教材の開発 —熟達保育者が抱く援助の意図に着目して—
青木 一起		生涯学習 (キャリア教育)	学校における子どもたちのバイアスの現状とキャリア形成への影響
相澤 一美	折田充	外国語	大学生による英語基本動詞の選定と習得達成度の検証
三島 秀晃		幼児期教育	学生の意欲的に実践したくなる、部分実習指導計画の立案 —着手しやすく、意欲的に取り組める指導計画案の—事例—

## 【自由研究発表 2日目】

<10/6 第6分科会N331教室：算数・数学> 司会：増田 有紀、花園 隼人			
中逸 空		算数・数学	操作的活動を通じた五角形の内角の和を説明する教材
永山 香織		算数・数学	算数科におけるテクノロジーを活用した数学的活動の教材についての研究
安達 心		算数・数学	特殊的好奇心を喚起する授業展開 ～角の二等分線を作図する場面の考察を通して～

<10/6 第7分科会N330教室：社会、教材論> 司会：伊藤 裕康、小池 英明			
鈴木 正行		社会	科学技術の発達と社会系教科の役割に関する一考察 ～AIの進歩と社会の対応の教材化を通して～
小原 友行		社会	「デザイン思考」に基づく社会科教材開発の視点と方法 ～単元「米国における日系移民の物語を追いかけて」を事例に～
関根 達郎		教材論	地域素材の教材化による地域人材の育成
下村 由香		教材論	認知特性に関する教材を用いた授業実践 ～短期大学の診療報酬資格関連授業におけるスパイラル法を用いた取り組み～

<10/6 第8分科会N218教室：情報、道徳> 司会：渡壁 誠、越川 徹郎			
入江 義幸		情報	Google スプレッドシートを使った校務支援システムの利用からICT活用へ
辻 史朗		情報	動画を活用した教材づくり
石川 勝彦	百瀬光一・下崎聖	道徳	道徳教育はどのような感情処理をへて社会性を改善するか
矢作 信行		道徳	生成AIやメタバースを活用した道徳科等における授業開発の可能性

<10/6 第9分科会N217教室：：幼児期教育、美術、技術、家庭科> 司会：相田 隆司、藤川 聡			
柴田 卓		幼児期教育	幼児教育とSTEAM教育の親和性を考える ～自然の素材や教材および地域資源を活用した事例を基に～
恒賀 康太郎	西村幸一郎	美術・幼児期教育	図画工作・表現（造形）における「習得・活用・探求」のプロセスを生かした教育効果 ～教員養成系大学における美術教育の指導および教材開発の相関分析をもとにして～
渡津 光司	大谷俊行	技術	中学校技術科における木材切断用治具の評価
長橋 雅人		家庭科	緑黄色野菜に関する栄養教育用教材の検討

## 【研究プロジェクト】

番号・教室	研究代表者	共同研究者	テーマ
①・L202 教室	石川 勝彦	百瀬 光一 下崎 聖	社会直観主義道徳理論に基づく新しい道徳教育指導法の開発 ～「モノへの罪悪感」を手がかりにした人間理解の深化を目指して～
②・L301 教室	藤井 大亮	朝倉 徹 前田 善仁 増田 有紀 細矢 智寛 木野 正一郎	教材と教科教育の研究 ～データサイエンスの功罪と、それを踏まえた教材・授業の改善について～
③・N331 教室	遠藤 清将	内山 正登	教科等横断的な学習における ELSI をテーマとした教材の開発 ～国語科と理科の教科等横断におけるリテラシーの醸成～